

平成28年度第4回市民と市長の対話集会

市長と語ろう！

ほっとミーティング

テーマ ひらつかの「子育て・高齢福祉・安心安全」

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成28年(2016年)11月30日(水)
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 岡崎公民館 2階集会室
- 3 参加者 12人 傍聴者 31人



ほっとミーティングの様子

4 市長あいさつ

皆様こんばんは。本日は大変お忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただき誠にありがとうございます。

現在、全国的に人口が減少しており、行政運営が継続できるかどうか厳しい時代を迎えています。本市でも、平成22年11月の26万863人をピークに人口が減っている状況です。国からは、自治体が存続するための戦略をたてるようにとの指示がありました。

そこで、平塚市は今後目指すまちづくりの計画として、新たな総合計画「ひらつかNext」を策定しました。計画の重点施策を、「強みを活かしたしごとづくり」と「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」、「安心・安全に暮らせるまちづくり」として、このほっとミーティングでは、「子育て・高齢福祉・安心安全」をテーマに、市民の皆様から率直な御意見を伺って市政に反映したいと考えますので、よろしく願いいたします。

この岡崎公民館は、平成7年から平成12年までの間、公民館主事として受け持ったことがあり、岡崎や城島の皆様からよく御指導いただきましたので、故郷に帰ってきたような気持ちです。本日は、皆様から地域づくりに対する思いをお聞きしたいと思っています。

また、本日はできる限り私からお答えさせていただきますが、中にはこの場でお答えできないこともあるかと思えます。その際には、事務局から担当課への確認を行い、皆様にお伝えさせていただきます。本日はよろしく願いします。

5 主なミーティングの内容

①安心安全について

【参加者】

地区の高齢化が進み、空き家が増加している。防犯上、防災上の観点から問題がある。また、全国的に高齢者ドライバーの事故が増加しているが、この地区は（商業）施設が少なく交通アクセスが悪いため、高齢者は車を使わざるを得ない。高齢者の交通事故も心配である。

【参加者】

（水防団の経験から）集中豪雨による河川の氾濫が多くなってきており、その対策について伺いたい。津波対策と同様に、河川の氾濫を想定した避難訓練を提案したい。

【参加者】

自転車で走る際、ブルーレーンがあると安心であるがこの地区周辺には無く、設置を検討してほしい。狭い道が多い上、車が多く通っており、自転車での通学時に危ない場所が多い。また、小学校や中学校ではPTAを通して要望できるが、高校生になると要望をしづらい。特に、街灯の無い暗い箇所も多く、防犯上の観点から改善した方がよい。子どもの登校時に不安がある。

【市長】

空き家対策については、以前に自治会に調査を依頼したことがあります。全国的に世帯数の1パーセントくらいと言われており、本市では約10万世帯の内、1,000件位と思われまます。一番良いのは、相続を含めて持ち主を特定できることなので、そのやり方を工夫して検討しないといけません。基本的には個人の財産なので、行政が介入することは難しいです。草が生い茂った家などは消防が指導に入ったりすることもあります。家自体を壊すなどは現在実施していません。空き家対策には、これからどう具体的に進めるか検討している段階です。空き家率は県内では少ない方ですが、対策は必要と考えています。

高齢者ドライバーについては懸念しています。免許証の返納制度を進めないといけませんが、免許証を返納しやすくするには、公共交通機関の利便性を高めないといけません。一方で、バス会社としては採算性を重視しないといけない。一部で行政が一部負担をしている路線もあります。デマンドバスやデマンドタクシーなどの手法もありますが、福祉的な意味合いでの対応ができるかも課題として捉えないといけません。交通対策の担当部署があるので、検討しているところです。金目地区でも同じように言われています。そうした地域が増えていくのは把握しており、課題だと思えます。

商店が少なくなり、地域によっては買い物が不便と思われれます。お店によっては配達してもらうサービスもあります。そうしたサービスについて、介護的な観点から案内できればと思います。

河川の氾濫については、河川を流れる水量の確保ができずにいることが問題です。県には、河川の浚渫工事を要望しています。現在、県で計画的に確実に実施しています。避難訓練についても必要性を感じています。河川氾濫については、タイムラインによって72時間前から降雨量を予測し、避難情報を出すようにしています。空振りでもいいので、迷わずに避難勧告等を出していきたいと考えています。

街路灯については、地域からの要望で順次つけています。危険度が高ければ、危機管理課に意向を伝え、対応していかないとはいけません。単独での要望よりも、地域として要望をまとめて伝えていただければと思います。LED化も進めていきたいです。

ブルーレーンとは、まず駅周辺を中心に進めています。市道の路側帯に砂が溜まっている場所については、土木部で対応していきたい。今回、リトアニアとオリンピック・パラリンピックに関する協定を締結したことから、今後、外国人を含め多数の人が来られるようになるので、自転車が安心して走れるよう、ブルーレーン等含めた自転車走行対策を効果的に進めていきたいと考えています。

②子育てについて

【参加者】

子どもたちが日常的に遊べる公園が無いと感じる。また、城島駐在所の北に跨線橋があり、そこを左へ行くと用水路のところに歩道があるが小刻みになっていて危ない。カーブの箇所についてもスピードを落とさない車も多く走っていて、対策等を聞きたい。

【参加者】

城所地区では、通学路の整備がされていない箇所が多く、安全性に不安がある。乳幼児の子を持つ親にとって、外出先で乳母車を押せない。歩道が無い、ぼこぼこになっている箇所が多いと感じる。高齢者や障がい者も困ると思う。中学生の子を持つ母親から頼まれたことだが、中学校給食はできるのか。

【参加者】

通学路について、道路標示が消えかかっているところが多い。カーブが多い場所は、登校時に危険と思う。また、岡崎の地下道が暗く、ポールについた反射板からの光で少しは明るくなるので、反射板などの対策もいいと思う。

小学校のトイレ掃除等の件で、以前は自分たちで掃除をしていたが、現在は業者に委託しているとのこと。衛生的な問題があるため、業者委託をしているらしいが、上履きそのままスリッパに履き替えなくてトイレに行っているようであれば、衛生上問題だと思う。

【市長】

公園については、市内全体をとおしても、少ないわけではありません。やはり公園になると、ある程度の土地と、整備するための予算が必要で、計画的に進めないといけません。本市には総合公園があり、そちらを重点的にというのは否めませんが、住宅の開発計画の中で地主さんの理解のもと、公園を作るお願いはしているところです。できる可能性があるところはしっかりと確保していきたいです。

城所の用水路、幹道10号については、城所の自治会から毎年お話は受けていて、平成25年から工事をしています。道が狭いので、通学をするときに、どこを通るのか迷うところですが、現在は、用水路に蓋をして通るようにしています。本当は一遍にやりたいですが、予算の関係で難しいです。それでも、毎年毎年、予算を考えながら進めていきますが、大きな課題として捉えています。できるだけ早く整備をしていきたいと考えています。

通学路については、標示等をしっかり回復しないとダメです。高齢者ドライバーの対応については、交通法規上、いろいろ免許等、認知症を確認したり、そういう方たちに運転を控えてもらうようにしないとダメです。そもそも、通学路に危険性がないかどうか、安全性が確保されているかどうか、舗装の色分けや注意喚起を進めていきたいです。標示があまりにもひどい場合は、学校に言っただけであれば確認をしたいと思います。

乳幼児の乳母車の件については、バリアフリーとして考えないとダメな課題として捉えています。ひどい場合については、土木部に連絡してもらい、補修をしていければと思います。

学校の掃除の件ですが、毎年大規模工事を小中学校で適宜しています。中原中学校は洋式トイレへの改修工事を進めています。トイレは今まではタイル張りで、モップなどにより水拭きをしていましたが、現在はフローリング張りなので、濡らしていません。中学校でもトイレ掃除は業者委託と聞いています。車いすが入れるようなトイレや、みんなのトイレと一緒に含めて設置する改修をしています。

中学校給食ですが、市内には中学校15校、小学校28校ありますが、校舎や体育館の改修工事を優先的に進めています。エアコンも特別教室には入れましたが、今後、普通教室にも入れたいと思っています。まず、しっかり勉強で

きる環境づくりを優先しています。市内の業者にお願いして、デリバリー給食を活用しています。現在はそうしたやり方がベターだと思います。中学校に聞きましたが、給食についてはどうかと聞くと、子どもたちは圧倒的に、お弁当がいいという意見だそうです。

③高齡福祉について

【参加者】

高齡者世帯の情報がしっかり把握できているか不安。個人情報の観点からも、すべてを網羅できていないかもしれない。行政と情報共有ができればと考えている。コミュニティバスについて、買い物弱者や通院弱者にとって必要と考える。

【参加者】

公園は福祉村と違い気軽に活用できると思う。高齡者が活用できるよう、公園内にテーブルや運動できるような遊具があるといいと考えます。

【参加者】

小鍋島はお店が1軒も無い。数年前に2軒ありましたが、今はありません。買い物ができない高齡者が多くいる。福祉村では、店舗への送迎をしたりしているとのこと。車や保険について、市で解決できないか。

【参加者】

高齡者に多い、生活不活発病は御存じですか。私も最近聞きましたが、日常生活がだんだんとできなくなってくるものです。活発になってもらうためには、しっかり自覚しないとイケない。いかに自覚をもたせるかが重要だと考える。健康意識をもってもらわないと、介護が必要な人が増えてしまう。そのため、提案として、平塚市で高齡者何でもギネス登録制度を作ってみる何でもいいので一番なことを市で登録してみて、認定してみるといいかもしれない。

【参加者】

認知症の介護者の当事者としての提案。認知症の使えるサービスは、中期以降のものがターゲットになっているものが多い。初期症状で使えるサービスは少ない。介護保険以外でも、通所できる高齡者向けのサロンなどがありますが、各地域で認知症患者を受け入れるような施設が開設できるとよい。事業者が手を挙げるのを待つのではなく、市が積極的に動けないかと思う。平塚市の認知症ガイドブックには、必要な情報が網羅されており、内容は充実していると思う。ホームページからのダウンロードは難しい人も多いため、各公民館や病院等で配布ができるようになるとうい。

【市長】

個人情報ですが、しぼりが多くあります。ただ、災害等の命にかかわることや福祉の部分で、積極的に対応できればと思います。どこまでできるかは研究しないとけません。

コミュニティバスについては、病院のない神田地区に導入しています。いろいろな病院配置等も含めて、考えないとけない。全体としても高齢化が進んでいるので、どういう交通の在り方が必要か、考えていかないとけません。

公園については、気軽に使えるような施設が必要と思います。公園の在り方も研究しないとけません。

商店がゼロだと困ると思います。買い物で困るようなことであれば、例えば、要支援者については福祉村で受け入れができるような仕組みができてきたので、そうしたことから、介護保険が使えてくると思います。

生活不活発病。どうやって、仲間を作っていくか。サロンに来てもらうか。まずは、魅力がないと参加してくれないと思います。いますぐにいい案があるわけではありませんが、ギネス制度も面白いと思います。介護予防の観点で研究しないとけません。来年に向けて、地域包括支援センターを増やしていくので、きめ細かく対応していきたいです。健康寿命を延ばすためにも、体を動かす機会を作っていきたいです。

認知症の初期段階では、福祉村や地域包括支援センター等でより身近なところで対応ができればと考えている。相談できるところ、通えるようなところを作ることができればと思います。

ひらつか認知症ガイドについて、お褒めいただきありがとうございます。まだまだ、市民に対して情報提供が足りていない。できるだけ、目につくように、広げられればと思います。

6 市長によるまとめ

本日は皆様の貴重な御意見を聞かせていただきまして、ありがとうございます。子育て、高齢福祉、安心安全の各テーマについて、岡崎地区、城島地区の各課題を伺いました。

本市の基本的な考え方については、お示しが出来たかと思います。皆様からの意見はそれぞれの担当課で情報共有をしていきたいと考えています。

地域を良くしようということで、課題に向き合っている意識が高いと感じました。これからも地域を愛していただき、行政と連携したうえで、取り組んでいければと考えています。本日は本当にありがとうございました。

アンケート結果報告

【アンケート回答数 27件】

問1 市長の説明や市長との対話はいかがでしたか。

よかった	9人
まあよかった	13人
どちらともいえない	0人
あまりよくなかった	1人
よくなかった	2人
回答なし	2人

問2 本日の「ほっとミーティング」のご感想について。

- ・とても参考になった。今後、高齢者福祉の問題は六者会議で、地域で解決できるものは協議していきたいと考えています。
- ・直接、市長から回答がもらえたのは良かった。
- ・初めてでしたが意義深いミーティングでした。
- ・テーマが3つとなってしまったことで、時間が足りなかったと感じました。
- ・市長から市の現状を聞かせていただき、納得できる部分もありました。その後、どうなっていったのか、経過報告が見えるようにフィードバックしていただきたい。
- ・岡崎の道路は坂道が多く、全般的に狭い。これを解決すれば、子どもの通学、交通安全等解決できるが、難しいと思う。
- ・今回の内容は住民に対し、オープンにしていだけるそうなのでよろしくお願ひします。
- ・安全ということで話を考えてきましたが、高齢者、子育て、まだまだ問題点があるので、その時にあわせて対応してもらいたいと思います。
- ・多くの方の御意見御提案も考えさせられるものが多く、今後のことについて改めて見つめ直す良い機会となりました。
- ・方向性の話、説明が多く、具体的対策への話が出来ていないように思えた。もっと深く話し合える場所がほしい。
- ・もう少し時間が必要ではないか。提案に対しての答えがもう少しはっきりとほしいです。
- ・市への要求が多すぎて、自分が何をやるかが不足。
- ・テーマの時間配分が気になった。
- ・身近の問題がこんなに山積みなのが驚きだった。
- ・結局言っぱなし、聞きっぱなしで実りのあるミーティングになっていない。

- ・コミュニティバスをよろしく。
- ・いろいろな問題に市長さんがきちんと答えているので感心します。
- ・市長の回答は幅広く、適切に思った。
- ・両方向での話し合いが出来れば、もっと良いのではと思った。
- ・若い人が参加できるといいと思う。年代別に平均になるように。
- ・いろいろな声が直接聞けるいい機会。もっとやってほしい。
- ・通学路の整備が遅れている。河川の整備を早急にやってほしい。